

令和7年度 公益財団法人納税協会連合会会長賞

税金の使い道

宇陀市立大宇陀中学校 3年 中森 晴香

「税金」と言うと、「高い」や「無駄」といった批判的な言葉がよく聞こえてきます。確かに、スーパーなどに行くと、昔は安かったお菓子が今少しずつ高くなっている感じがするようになりました。しかし、税金が私たちの生活になくてはならないものだということを、私は知っています。

特に、公務員の方々に対して「税金泥棒」という言葉が使われています。このように言われている理由は、公務員の仕事への不満がある中、公務員の給料に税金が含まれていることに対し、「なぜあんな人たちに私たちの納めた税金をあげるんだ。」と思っているからだと私は考えています。しかし、公務員の人たちはただ税金をもらっているわけではありません。公務員の給料からも一般的の会社員と同じで、所得税など様々な税が引かれています。消費税なども当然払っています。そして公務員の方々のおかげで私たちは自分の居場所をもって生活ができていたり、安全に暮らすことができています。

私の父は消防士です。父の仕事には決まった時間はありません。寝ている時でも、食事をしている時でも、通報があれば出動します。ほとんど寝られない日もあるそうです。そして、危険な仕事もあります。火災が起きた時、父たちは逃げるのではなく消火をし、逃げ遅れた人がいた場合、火の中に助けに行かなければいけません。そんな大変な仕事をしている人たちに対して、「税金泥棒」と責めるのはおかしいことだと私は思います。

ではなぜ、税金は高くなっているのでしょうか。それには、少子高齢化による社会保障費の増大や国債に頼らない安定した財源の確保など、多くの理由があります。税金はこれらの問題を改善するために必要で、高いからといって減らすことのできないものです。それでも「無駄遣い」だといわれるのは、その税金の使い道に国民の理解を得られていないからです。政治に関するニュースでは、そういう問題がよく取り上げられています。税金を無駄にしないためには、国民に理解される税金の使い方を探さなくてはなりません。

税金には「高い」、「無駄」といった良くないイメージがついています。しかし、税金を納めるおかげで私たちの今の生活は守られています。税金はこれから社会にも必要なものです。高くても無駄なものではありません。ですが使い道次第では無駄と思われてしまうこともあります。私たちに出来ることは様々な考えがある中で、正しい知識をもって、何が良い使い方なのか自分の考えをもつことだと思います。そして、税金が無駄のない使い方をされて、よりよい社会になっていってほしいです。